

『放課後子ども教室』

放課後子ども教室だより No. 10

発行：県北教育事務所 2013. 11. 18

とうわどんぐり教室・ほばらっ子クラブ訪問

放課後子ども教室訪問

県北域内の放課後子ども教室では、学校や地域の実態やニーズに応じて工夫を凝らして様々な活動を展開しています。二本松市の「とうわどんぐり教室」では、下校のバスの待ち時間を利用して読み聞かせを中心に実施しています。また、伊達市の「ほばらっ子クラブ」は特別支援学校または特別支援学級と通常学級の児童と一緒に活動している放課後子ども教室です。発足の経緯は違いますが、子どもたちの安心・安全な居場所づくりという意味では、共通の思いで取り組んでいます。

とうわどんぐり教室

二本松市(10月17日)



毎週木曜日に東和小の和室を利用して活動しています。低学年児童の下校のバスの待ち時間を利用して、読み聞かせを中心に活動しています。本日のメニューは、語り部による「昔話」、絵本の読み聞かせ、大型絵本による読み聞かせ、紙芝居という内容でした。役割分担を決め、メニューも子どもたちが楽しめるよう工夫をしています。また、季節の行事に合わせて折り紙や工作なども取り入れています。子どもたちを育むスタッフの熱意が伝わってきます。

ほばらっ子クラブ

伊達市(10月18日)



毎週金曜日に保原中央公民館の和室を利用して活動しています。特別支援学校または特別支援学級と通常学級の児童と一緒に活動している放課後子ども教室です。活動メニューは特に決めずに、子どもたち同士またはスタッフとの触れあいを大切にしています。広々とした和室はボール遊びをしたり走り回ったりするのに十分なスペースで、子どもたちは元気いっぱい活動しています。障がいを持つ乳幼児サークルとの交流も活発に行っています。

学校や地域の実態やニーズに応じて工夫を凝らして展開しているすばらしい取組です。